

は大口債権が増えたことによるもので、国やJAバンクの指導、当JAの規定などにより、通常の債権からリスク債権になる案件が増加しているためです。このことによる購買供給停止や現金のみの取引はしておりません。その前に営農指導や担当部署が支援をしながら指導しております、我々の使命は農業振興でありますので援助を行っている旨をご理解いただきたいと思います。

営農指導員や購買担当者は我々に目を向けてくれており、すごく感謝している。しかし身近であるはずのJAが金融機関として遠く感じられるため、もう少し我々に目を向けてもらいたいと思う。

営農・購買に一定の評価をいただいておりますので、金融も含め一体となって法人とタイアップできるような形を作りながら進めてまいります。重ね重ねではあります。が指導のほどよろしくお願いいたします。

昨年度ATMが8カ所廃止となり、近くの郵便局やコンビニでは手数料がかからないのでそちらを利用してくださとのことだったが、通帳の記帳ができない。例えば記帳するため7km離れた場所に行くとなると、自動車が使えない場合は困難だと思いが、どのようなサービスを考えているのか。

あぐりんなかいちについては昨年度2000万円ほどの赤字となっており、過去にも赤字になっている。介護事業は9月で廃止するとなっている。あぐりんなかいちは今年度の計画も赤字である。ATMの廃止時は利用者が少ない、経費がかかるからとの理由で廃止したが、あぐりんなかいちを廃止する予定はないのか。

ATMの廃止については利用率を調査して、キャッシュレスが進んでいる影響もあるのか、利用率が上がっておりませんでした。しかしながら8カ所もATMを廃止したことにより、皆様には大変ご迷惑をお掛けしていると感じております。廃止により約2000万円の経費削減となり、その分を配当や農業施設の充実に充てたいと考えております。代替措置としてはコンビニATMの他に「秋田あったかネット」もあり銀行や郵貯のATMで手数料なしで利用できます。記帳することはできませんが、スマートフォンをお持ちの方であればJAバンクアプリを導入することで通帳内容を確認できるようになりますので、組合員の皆様からもご利用いただきたいと思えます。

あぐりんなかいちについては、令和2年度に2000万円の赤字となっておりますが、人件費が多くなっており、賃貸料530万円と減価償却費で施設費が高くなっております。中通という地域性もあって施設費が高いと思われれます。あぐりんなかいちは秋田県の情報発信基地になるとのことと始めており、農業振興や農業所得向上のために発展させたいと考えております。令和2年度についてはコロナ禍の影響もありましたが、現在廃止の予定はありません。

通帳の内容を確認するためにスマートフォンを使用してくださいとのことだが、若い人はいが高齢者はどうなのか。組合員のためではなくJAのためなのではないか。事業運営方針に「地域に根ざした組織」とあるが、地域に根ざした組織が利用率が低いからとATMを廃止することに疑問に思う。

赤字となっているあぐりんなかいちには、確かに県外からの客も来るしアンテナショップかもし

れないが、赤字の施設を残すことよりそこにかかる費用をCEの補修に回せるのではないかと。

大規模になったから組合員が減るのではなくJAに魅力が無くなったから減ると感じる。職員の退職の大部分はJAに不満があったからだと聞いている。JAは農家の出資組合なので営農指導を期待している。

今のJAは、農家のための経営ではなくJAのための経営になっている。JAの経営がよくなれば農家にサービスということになっていない。農家は出資組合員なので利益を還元できるような事業をしなければならぬと思うし、JA経営が中心の説明ばかりのため、組合員側に立った経営を望む。

CE等、農事組合法人が事業主体になった大規模施設についてはJA基幹施設と同様に、運営について支援していただきたい。

圃場整備後に取り組む園芸作物について、法人が中心となっていくことになるが、将来の農業者の高齢化をふまえて、少人数でできる栽培管理手法を指導してほしい。

JA店舗の職員名がわからないので、机の配置、名前、担当、職務上の地位を記した一覧表を、組合員に配布するか店舗の入口等に掲示できないか。

購買や農機事業を利用する際に、JAカードが利用できれば便利になるのではないかと。

中古農機具の仲介してほしい。